

中屋大臣
 太子
 物語
 山人作
 國信画



文政四
 森治板
 已新
 板前

特別
 ~ 13
 3786
 1



13
3786
1

夫天地開闢てより以て兵鎗刀劍戦の休まる間なく
 天竺より佛あり我朝に神軍ありかざる者なく
 其後ハ神治國平かして太子の勸善懲惡吐
 樂しむ折るるの赤本の善懲惡吐
 親也又提波女大冲悪太子不身居のいささきも洗濯
 の粘るくくと發明る御子孫の御機かんとうお
 うふくくも作老のたう此年賤布新ひたり
 くだ付けも金ガ欲討よいほえくえんか越向さそ
 おられとまうドめふるくく云爾

甘茗溪の隱士

花林園





○聖徳太子

○守屋大臣

人波則天下の

神物奈利須掌

静謐



下露
 毎人今成佛名残昔

○中納言智言公姫君
 環姫

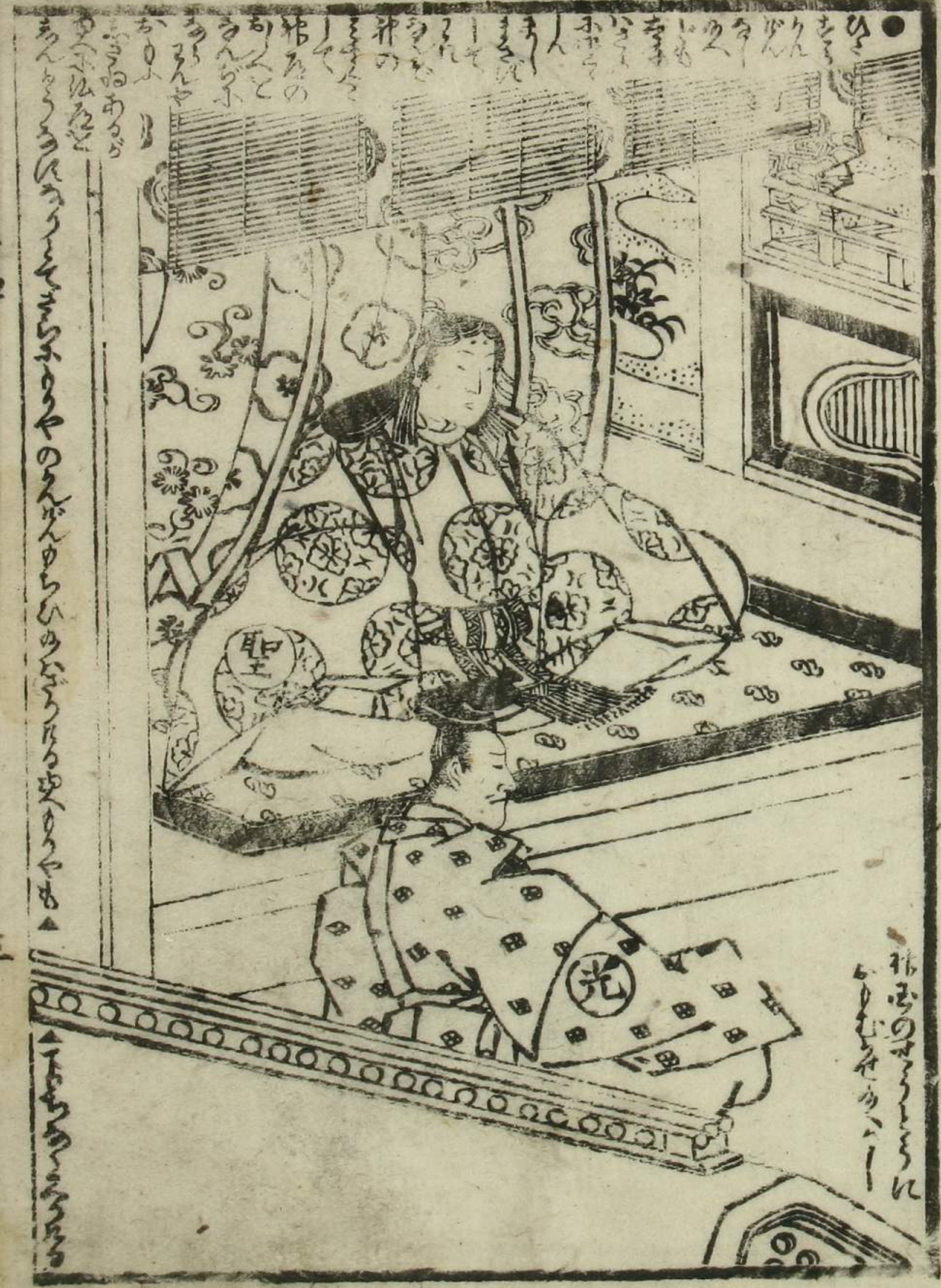
るまゝ人の今ハハハ成り
 女侍のまはりてるけのトア

人皇世二代用...
 天...
 三國...
 日...
 八...
 正...
 天...



百...
 八...
 日...

五...
 光...



光...
 聖...

光...
 聖...



さうの
あつて
あつて
あつて

さうの
あつて
あつて
あつて

さうの
あつて
あつて
あつて

さうの
あつて
あつて
あつて

